ふれあい清和

地域をあげての敬老会

十月六日に、新型コロナ感染拡大等で中止されていた清和地区敬老会が、四年ぶりに清和小学校体育館で開催されました。

敬老会は地域の人々の交流を深め、いつまでも活き活きと暮らしていただきたいとの思いで実施しており、今年は「少しずつ日常を取り戻す」という動きの中で、感染予防対策を十分に行い開催の運びとなりました。

今年卒寿（九十歳）を迎えられた方は三十五名、珍寿（九十五歳）を迎えられた方は二十二名おられ、当日は、六名の方に参加いただきました。

式典での記念品贈呈の後には、敬老演芸で「清和小学校児童」「白ゆり会」「Seiwaフラガールズ」「深山扇光会」「フラワーサークルピコ」の皆さんのダンスや日本舞踊を鑑賞して、楽しいひと時を過ごしていただきました。

なお、当日は招待者（高齢者）・関係者をあわせて総勢百五十五名の方の参加をいただき、盛会裡に終了することができました。

今回も清和地区自治会連絡協議会・清和地区民生児童委員協議会・赤十字奉仕団・秋元婦人会等々がこの会を支えてくださいました。

有難うございました。

（高）

みなさん
これからも
元気でお過ごしください

＜発行＞
君津市清和地区
社会福祉協議会

＜編集＞
広報委員会

合同食事会を開催

一人暮らし高齢者の食事サービス対象者の皆様からの希望を募り、合同食事会を九月三十日に開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあって、三年ぶりの実施となりましたが、調理や配食のボランティアを含めて約二十名が参加しました。

午前中はボッチャやビンゴを楽しみ、昼食をはさんで午後からは清和公民館主催の高齢者学級の事業に合流させていただき「かずさウインドオーケストラ」の「アンサンブルによるコンサート」を鑑賞しました。

（佐）

あんがい
難しかったですね～
でも、楽しかったです♪

ふれあい見学会

十月二十六日、コロナ禍で見合わせていました、一人暮らしの高齢者を対象とした「ふれあい見学会」が三年ぶりに実施され、民生児童委員や社会福祉協議会関係者を含めた二十三名がバスに乗り、長生村の「太陽の里」を訪れました。

「太陽の里」では、昼食後、歌謡ショーと芝居「仙太郎・姫之助」を観ました。歌謡ショーではマイクを向けられ、一緒に歌い楽しみ、芝居は人情溢れる時代劇に涙をそそられました。

短い時間でしたが、お互いの話に花が咲き、交流を深めながら楽しく時を過ごすことができました。

（鶴）

大盛況　新春ちびっこ大会

新年を迎えた一月七日、清和小学校を会場に「新春ちびっこ大会」が開催されました。

青少年相談員と清和公民館が共催し、当日の運営には、清和地区の社会福祉協議会と民生児童委員協議会が協力しました。

開会式後、子どもたちは、グラウンドや体育館で凧揚げやモルック競技、昔遊びなどをして楽しみ、その後は参加者全員で温かい豚汁をおなか一杯美味しくいただきました。身も心もポカポカになった後、待ちに待った新春運だめしビンゴ大会が行われ、子どもたちはハラハラドキドキしながらいろいろな景品を手に入れて大喜びでした。

この時期にしては温かく、好天にも恵まれた中で、清和地区のいろいろな団体の方々が子どもたちのために協力し、楽しいひと時を創り上げることができました。

（大）

多世代交流　グラウンド　ゴルフ大会

十一月二十二日、清和小学校を会場に三年ぶりとなる多世代交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。

当日は好天の下、君津九十九会・シニアクラブの皆さんと、清和小学校からは全学年の少し緊張した子どもたちが参加し、十三のグループに分かれて、お年寄りからの手ほどきを受けながら競技をスタートしました。

競技中は、ホールインワンが出て歓声がわいたり、うまく打てない子どもには、お年寄りの皆さんが親切丁寧に教えてくださったり、素敵な場面が校庭に溢れました。

最後に集まった時には、子どもたちとお年寄りが、雑談する温かい空気が流れていました。

子どもたちにとっては貴重な触れ合いの場、学びの場となり、止まっていた清和地区の多世代交流の時計が、再び時を刻みだしました。

主催の青少年健全育成連絡協議会、清和公民館の皆様はじめ、企画・運営・準備に関わってくださった全ての方に心から感謝いたします。

（清和小）

君津市　社会福祉大会　に参加

一月二十六日、「いつまでも住み続けたい支えあいのまち」を大会のテーマに、第五十一回君津市社会福祉大会が、市内の福祉関係者と住民が一堂に集い、三年ぶりに君津市民文化ホールで開催されました。

はじめに式典の部では、多年にわたる福祉活動に貢献された方々への表彰状・感謝状が贈呈されましたが、特に今年度は民生委員・児童委員の改選期にあたり、清和地区からも多くの皆様が受賞されました。

清和地区社会福祉協議会からは、真板美枝子さん、加賀谷波枝さん、齋藤喜己江さん、渡邉すみ子さん、川俣三郎さん、伊田操さんの六名の皆様が君津市社会福祉協議会会長から表彰状を受賞しました。

また、社会福祉に関係する功労者や受賞者の伝達・紹介とあわせて小・中学生の作文コンクールや福祉の標語コンクールの表彰も行われました。

その後に、元ＮＨＫディレクター「小国士朗」氏による認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」と題した講演が約一時間あったのち大会は閉会となりました。

（佐）

～*～ 標語表彰 ～*～

【令和四年度　福祉の標語コンクール優秀賞】

「考えよう　自分ができる　思いやり」
清和小学校三学年　高梨　蒼大

「大丈夫大丈夫　祖父の呪文は　いつも利く」
清和小学校五学年　長谷川　颯真

「お互いの　価値観認め　広がる笑顔」
周東中学校一学年　奈良輪　美結